



HTML/CSS

Webページの見た目を整えます

動画教材(HTML/CSS)

はじめに

これからHTML/CSSの学習に入っていきます。簡単なポートフォリオを作りながらHTMLをマスターしていきましょう！

目次

[1. ポートフォリオを作る](#)

[2. Hello Worldを表示しよう](#)

[3. ポートフォリオを作成しよう](#)

[4. ソースコードにコメントを書こう](#)

[5. アンカータグを使ってみよう](#)

[6. 画像を表示しよう](#)

テキスト学習4(JavaScript)

はじめに

今回と次回で、JavaScriptを使ったサイコロプログラムを作成していきますが、まずはHTML・CSSの部分を作成していきます。

目次

サイコロプログラムをつくらう

- ・ 1.1. サイコロの完成図を見て全体像を把握しよう！
- ・ 1.2. HTML部分を作成
- ・ 1.3. CSS部分を作成

1. サイコロプログラムをつくらう

1.1. サイコロの完成図を見て全体像を把握しよう！

今回はサイコロプログラム作りに入っていきます。

サイコロプログラムとは、その名の通りサイコロを降って目を出す動作をプログラム上で再現するものになります。

ランダムで1～6の目を表示するのをプログラムで作るのが、カリキュラムの目的になります。

全体像を説明すると、まずサイコロをころがすボタンとサイコロのイラストを表示したページを作ります。



1. 条件分岐、繰り返し処理



PHPで学んだif文・switch文・while文・for文の、JavaScriptでの書き方を学んでいくのですが、実はほとんど書き方の違いはありません。if文だけ少し変わってくるので、動画で確認していきましょう。

・演習[1]

PHPのPart.6 Part.7 Part.8 で実践したif文、switch文、while文をJavaScriptに置き換えてやってみよう！

2. 配列の書き方



5という数値を配列に格納する

3. リストの情報をもとに多次元配列に格納する。

まず以下のリストデータから2次元配列に格納します。

```
$listColName = array('項目', '列A', '列B', '列C');  
$listRow1 = array('列1', '1', '山田', '太郎');  
$listRow2 = array('列2', '2', '佐藤', '花子');
```

まず上の配列データを

`$table[行][列]` (上のデータでは`$table[3][4]`となります。)

を作成しましょう。

`$table[行]` の中に横一列分の情報が入ります。

注意：

行列の位置を変えて、`$table[列][行]` でも作ることは可能です。ですが、HTMLの`<table>`タグが行である`<tr>`タグの中に列である`<th>`、`<td>`タグを設定しているため、`[行][列]`とするほうが直感的にイメージしやすくなります。

PHP で表を作成する場合、縦のループの中に横のループを入れて、実行させます。

```
$listColName = array('項目', '列A', '列B', '列C');  
$listRow1 = array('列1', '1', '山田', '太郎');  
$listRow2 = array('列2', '2', '佐藤', '花子');  
$table = [];  
  
// 1行目を設定  
for ($i = 0; $i < count($listColName); $i++) {  
    $table[0][$i] = $listColName[$i];  
}  
  
// 2行目を設定  
for ($j = 0; $j < count($listRow1); $j++) {  
    $table[1][$j] = $listRow1[$j];  
}  
  
// 3行目を設定  
for ($k = 0; $k < count($listRow2); $k++) {  
    $table[2][$k] = $listRow2[$k];  
}
```